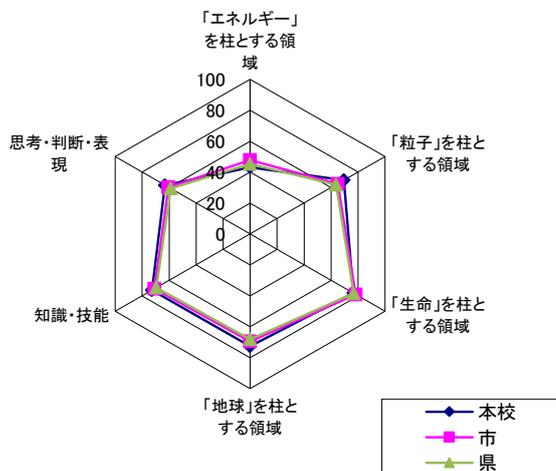


# 宇都宮市立清原北小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	43.1	47.8	45.3
	「粒子」を柱とする領域	69.5	64.9	63.6
	「生命」を柱とする領域	76.5	78.2	76.8
	「地球」を柱とする領域	72.6	69.5	68.1
観点	知識・技能	72.7	70.8	69.5
	思考・判断・表現	63.1	60.5	58.8



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市の平均より4.7ポイント低い。</p> <p>○電流が大きくなる回路を選ぶ選択式の問題では、県の平均より4.4ポイント高い。</p> <p>●並列つなぎの名称を答える問題では、市の平均より5ポイント低い。また、「平列」と名称を間違えた児童が11.8%いた。</p> <p>●簡易検流計の針のふれ方からわかることを短い言葉で答える問題では、市の平均より9.3ポイント低い。</p>	<p>・理科の用語を正しい漢字で覚えられるように指導する。</p> <p>・正答率が低かった「電気のはたらき」について、関連した単元で知識の復習をしたり、AIドリルを活用して復習を促したりして、知識の定着を図る。</p>
「粒子」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市の平均より4.6ポイント高い。</p> <p>○夏の線路のレールのつなぎ目がない理由について記述する問題では、市の平均より20ポイント高い。</p> <p>○水を冷やす実験で予想が正しかった場合に得られる実験の結果を予想し答える問題では、市の平均より21ポイント高い。</p> <p>●ボールに空気を入れるとはずむ理由を答える問題では、市の平均より3.9ポイント低い。</p> <p>●水のあたためり方を理解しているかどうかを答える問題では、市の平均より8.7ポイント低い。</p>	<p>・空気や水の温度による体積の変化の内容を復習するとともに、今後も実験方法や結果などを正しく記録できるように指導する。</p>
「生命」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市の平均より1.7ポイント低い。</p> <p>○春の気温やカエルなどの動物の様子について答える問題では、市の平均より4.3ポイント高い。</p> <p>●桜の様子について答える問題では、市の平均より8.2ポイント低い。</p>	<p>・自然豊かな学校の特色を生かし、学校のまわりの生き物について話題にするなど、普段から生き物に関心をもたせ正しい成長の過程を指導する。</p>
「地球」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市の平均より3.1ポイント高い。</p> <p>○月や星など天体についての設問では、すべての問題で市の平均より高い。</p> <p>●天気についての設問では、すべての問題で市の平均より低い。</p>	<p>・天気の決め方や天気による一日の気温の変化については、日常生活の中で学習内容を振り返りながら指導を行い、知識の定着を図る。</p>